

Caduceus Information

カデューシャス 通信

Vol.29


(2020年11月号)



滝野すらん丘陵公園(photo 総務課 本間重規)



シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス(Caduceus)のつえを頭蓋骨穿孔器(ずがいこつせんこうき)に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にあるは脳神経外科(Neurosurgery)のことを意味しております。

- ・ 当院脳神経内科の紹介
- ・ 新任ドクター紹介
- ・ スタッフ紹介
- ・ 外来診療体制



当院脳神経内科の紹介

現在、当院脳神経内科は脳神経内科専門医7名(常勤医師6名、非常勤医師1名)で診療にあたっております。脳神経内科疾患が社会全般に周知されるようになり、また、日本の人口高齢化とともに、その担当とする患者数は徐々に増加しています。各々の疾患の専門性を持った専門医がチームとなって脳神経内科疾患を総合的に対応しているのが当院の特徴です。北海道では脳神経内科専門医7名による診療体制は大学病院につぐ規模になっています。

脳神経外科専門病院で内科系である脳神経内科が診療を一緒に行っている点を不思議に思われるかもしれません。北海道大学の脳神経外科初代教授の都留美都雄先生はアメリカで脳神経外科と脳神経内科の臨床の研鑽をつまれて帰国され、北海道大学の脳神経外科の中に神経内科診療部門〔田代邦雄先生〕を併設し、現在当院顧問の阿部弘名誉教授が尽力され、北大の神経内科が独立スタートした経緯があります。欧米では脳神経外科と脳神経内科は同じ施設で仕事をすることが多く、私の留学していたドイツの大学でも同じ建物に脳神経外科と脳神経内科がありました。都留教授退官を記念してできた当院は神経疾患の診療では非常に効率のいい環境で、脳神経外科と脳神経内科が連携して治療に携わっています。また、最近は神経疾患と歯周病との関連性の報告があり、当院では歯科(三森康自)も併設して診療にあたっています。

緒方はパーキンソン病やパーキンソン病関連疾患、新保はレビー小体型認知症や頭痛、輿水は炎症性疾患や画像診断、相馬は脊髄小脳変性症や遺伝性神経疾患、中村は多発性硬化症などの免疫性神経疾患、西村は認知症や筋疾患、大槻は高次脳機能



北海道脳神経外科記念病院 副院長
脳神経内科/パーキンソン病研究センター長
緒方 昭彦

障害を専門としていますが、もちろん全員が脳神経内科疾患全般に対応し、お互いに情報交換を行ったチーム医療体制で日々の診療を行っており、また、神経学会の教育病院になっており、丁寧な診療を心がけております。脳神経内科疾患は加齢に関係する場合も多く、難病疾患も多く担当していますが、パーキンソン病も認知症も早期診断により早期から薬物治療やリハビリテーションを行うことにより症状の改善もみられますし、予後も変わってきます。特に早期診断においては専門医の診療と詳しい画像検査が重要です。現在の診療体制では札幌市内の他、後志地方、岩見沢・砂川方面、室蘭方面、千歳の患者様も多く、各々の担当医療機関や介護施設との連携を行っています。今後とも宜しくお願い申し上げます。



新任ドクター紹介

脳神経内科医長 相馬 広幸(そうま ひろゆき)

9月より勤務させていただいております。脳梗塞を勉強できたことも短期間ありましたが、殆どは神経難病の診療に従事して参りました。医師となり僅か20年ほどですが、治療法の乏しい神経難病でもパーキンソン病や多発性硬化症では飛躍的な進歩があり隔世の感があります。しかしながら治療に進展のない神経難病が多いことには変わりありません。前病院では病気が進行した患者さんが多く、治療に乏しいため心苦しい毎日でしたが患者さん・ご家族から多くのことを教わりました。一つは漠然とした不安です。もちろん病気は誰しも不安ですが、その内容がよくわからないことで漠然とした不安が生まれ、日々の生活に影を落としてしまいます。病気の全体像をイメージできると、それが辛く苦しいものであっても少し前向きになれるようです。2つ目は治療法がなく体の自由を奪われてゆく中でも、介護保険などの制度を利用して生活を整えリハビリに取り組むと、体の機能低下を緩やかにでき生活が送りがやすくなることです。そのためには看護やソーシャルワーカー、リハビリなど他職種との連携が大事なことも学びました。意外にほんの少しのことの積み重ねが日々の生活を安定させることを教えていただきました。些細なことでもお話しいただけるよう努めます。もちろん、難病以外の病気にも同じ心構えでおります。お気軽にご相談くださると幸いです。



スタッフ紹介



2階病棟 看護師 高原 美春

看護学生の頃に現在の病棟に実習にきて、脳外の看護師に憧れを抱きました。「笑顔にすることができる看護師になりたい」と1年目から志し、現在配属されて3年目です。日々の勤務はバタバタと忙しく、困惑してしまう場面も多々あります。しかし師長や主任、諸先輩方からの助言をいただきながら現在まで務めることができています。優しい方々ばかりで私は環境に恵まれているなど何度も感じています。まだまだ未熟な部分は多くあると思いますが、「明るく元気に」をモットーに、患者さんを笑顔にできるよう精進していきたいです。



4階病棟 看護師 石井 沙耶花

新卒で4階病棟に配属されてから3年目になります。4階病棟は障害者病棟でパーキンソン病などの神経難病や認知症の患者様が多く入院しています。1年目は何もかも分からず、先輩について歩くのがやっとでした。大変なこともありましたが、4階病棟の先輩たちが親身になって話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれました。そのお陰で成長することができ、初めての職場がこの4階病棟で良かったと心から思います。今では、患者様とコミュニケーションをとることが楽しく、患者様の一番近くにいる私たち看護師が何を出来るのか日々考えて奮闘し、やりがいを感じています。看護師としてまだまだ未熟ですが、笑顔を忘れず、患者様に安心・安楽を感じてもらえるように日々精進していきます。



外来 看護師 高橋 有香

外来看護師の高橋有香です。当院で勤務するようになり3年が経ちました。外来に配属されてからは早いもので1年が過ぎました。元々病棟での経験しか無かったため、外来業務を覚えるのに時間がかかりました。主任をはじめ、先輩方に丁寧に指導をしてもらい少しずつ成長している段階です。特にプリセプターの樋口主任には、仕事が上手くできない事など悩みを聞いてもらい精神的に支えてもらっています。とても忙しいですが毎日楽しく仕事をする事ができています。



薬剤科 薬剤師 山田 大樹

当院では病棟ごとに担当薬剤師を配置し、薬物治療の薬学的管理に取り組んでいます。入院時には、患者さまの安全を確保するためにアレルギーや普段飲んでる薬などの情報を収集し、薬の重複や相互作用を確認しています。また、副作用の初期症状がでていないかのチェックを行い、それぞれの病状や検査データなどをもとに、より良い薬物治療について医療スタッフと協議しています。

患者さま一人一人に薬の説明を行い、不安や疑問を解決できるように支援していきたいと考えています。困ったこと・不安などがあればいつでも気軽に声をかけてください。



リハビリテーション部 作業療法士 岡和田 颯

2019年4月に当院へ入職し、作業療法士として今年で2年目を迎えます。現在はパーキンソン病などの神経・筋疾患により、ご入院されている患者様へ、一人一人の目標達成に向け、他職種と連携しながら日常生活支援や運動療法を日々考え作業療法をご提供させて頂いております。2020年6月に開催予定でした第51回作業療法学会で『大切にしていた余暇活動をもう一度』をテーマにパーキンソン病を発症した患者様が「もう一度、自転車に乗り写真撮影に出掛けたい」という思いを汲み取った活動報告を発表する予定でした。残念ながら今般のコロナ禍により、学会は延期となってしまいましたが、作業療法士として、患者様、一人一人の目標に沿った作業療法の提供が行えるよう今後も精進していきたいです。



医事課 亀田 楓

医事課で入院業務を担当しています。2018年12月に新卒として入職し、もうすぐ2年が経過します。入院業務では、日々入院される患者様の行った治療を把握し、退院時に患者様にあった一部負担金を請求する、ということをしています。入院は通院と違い、手術や検査その他さまざまな治療を行うため高額になりがちで医療費に関して不安に思う方も多いと思います。ですので、入院の際は高額療養費制度を利用して頂くことで患者様の所得によって一部負担金の上限が設けられます。

まだまだ経験も浅く、勉強し学ぶことの多い毎日ですが、入院の際の不安要素を少しでも軽減できるように努めていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

外 来 診 療 体 制

外来担当医表

	月MON	火TUE	水WED	木THU	金FRI	土SAT					
						第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
午前	脳神経外科	会青 田樹 今吉 本村	会 小 田柳	吉 野 小阿 柳部	会 田 今吉 本村	会 田 青千 樹葉	今 村 青 樹	小 柳 千 葉	小 柳 吉長 本内	会 田 千長 葉内	交代制
	脳神経内科	西 方	興 水 中 村	緒 方 興 水	興 水 相 馬	新 保 西 村	西 村	興 水	中 村	相 馬	交代制
	心血管外科		石 井	石 井		石 井					休診
	循環器内科				野 村						休診
	皮膚科		田 代								休診
午後	脳神経外科	遠 藤 青 樹	小 柳 吉千 野葉	千 葉	吉 野 阿 部	今 村 (14:00~16:00) 吉 野					休診
	神経内科	新 保	中 村 相 馬	大 槻 緒新 方保馬	西 村 中 村	新 保					休診
	心血管外科	石 井									休診
	循環器内科				野 村	野 村					休診

受付・診療時間

◆ 午前の診療(平日・土曜日)

受付は、8時40分から11時30分まで
診察は、9時より行います

◆ 午後の診療

受付は、11時30分から16時30分まで
診察は、14時より行います

- ①お電話での予約の申込みや変更は、受診希望日の前日までに下記電話番号へご連絡ください。
TEL:011-717-2131 月曜日～金曜日(11時～16時)
- ②当院の予約は、来院時間を調整するものであり、必ずその予約時間に診察をお約束するものではありません。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
- ③予約をされていない場合でも、診察させていただきます。
- ④患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承下さい。
- ⑤診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は受付前の掲示板にてご確認ください。このほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ⑥当院は24時間救急対応をいたしております。急に具合が悪くなったときは、夜間・休日問わず電話連絡の上、いつでもご来院下さい。
TEL:011-717-2131

歯 科

院内歯科では、外来はもとより 入院中の患者様の治療も行っています。

診療時間

月・水・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
土	10:00~14:00	

休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

歯科直通

ナインタイムシバ
TEL&FAX:(011)717-1648

理 念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報は守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、

脳・脊髄・末梢神経の疾患を

急性期からリハビリテーションまで

総合的に診る病院です。



交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス 北72 または 西51「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス 軒32 「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、西武デパート跡地南側から中央バス 西71「南新川」または 西51「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 <http://www.hnsmhp.or.jp>